

証券化市場の動向調査のとりまとめ

～2018年度下半期の発行動向～

本調査は、日本証券業協会及び一般社団法人全国銀行協会が毎月実施している「証券化市場の動向調査」（日本証券業協会ホームページ<<http://www.jsda.or.jp/>>参照）について、2018年度下半期（2018年10月～2019年3月）発行分の結果を取り纏めたものです。

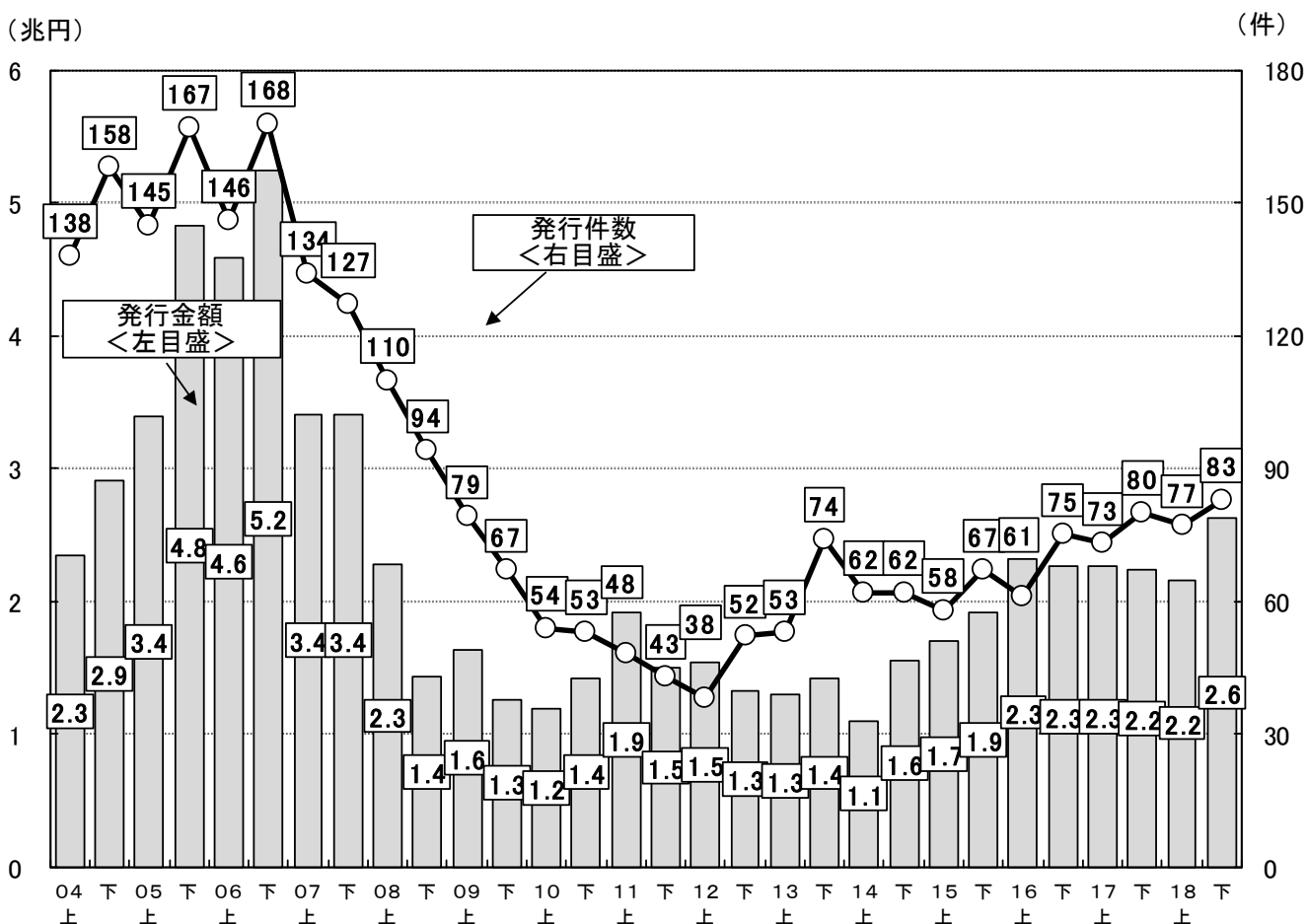
なお、図表において使用する数値データにつきましては、別紙をご参照ください。

1. 証券化商品全体の発行動向

2018年度下半期における証券化商品の発行動向をみると、金額、件数ともに前年同期を上回った（金額2兆6,242億円<前年同期比+17.6%>（※）、件数83件<同+3.8%>。（図表1）。

（※）2018年度下半期における普通社債の発行金額は4兆8,036億円（暫定数値）であった。

（図表1）証券化商品の発行金額・発行件数



2. 裏付資産別の発行動向

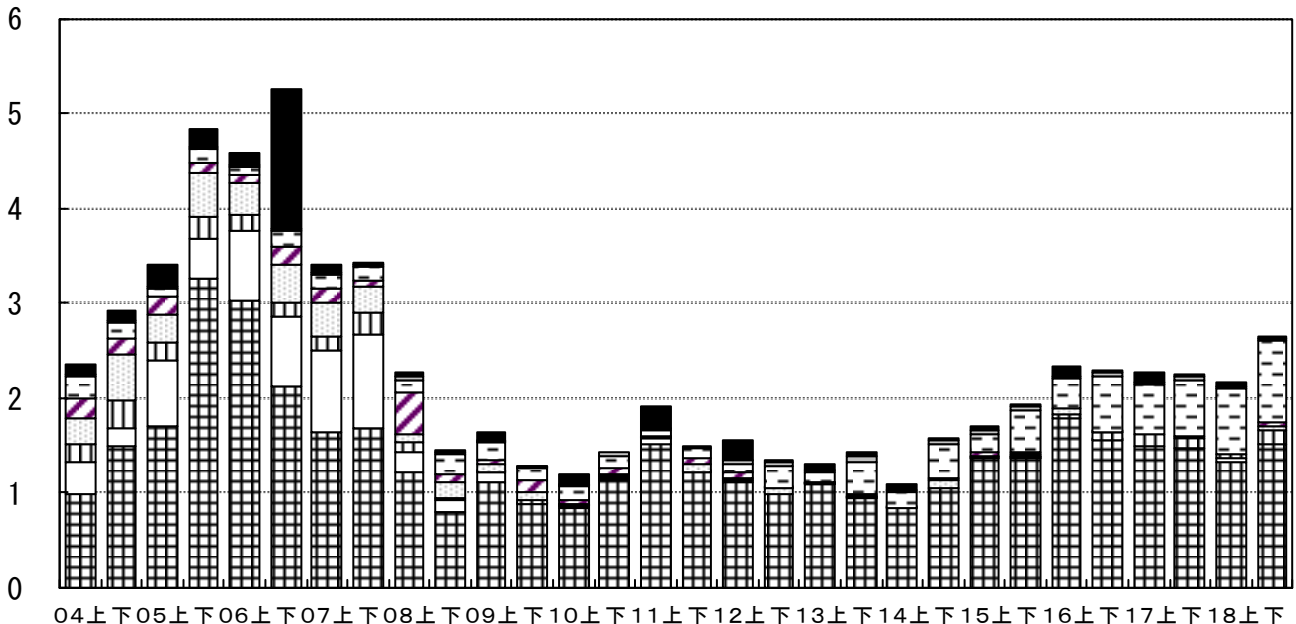
2018年度下半期における証券化商品の発行金額を「裏付資産」別にみると、「RMBS」、「CDO」、「リース」、「消費者ローン」、「ショッピング・クレジット」及び「その他」は、いずれも前年同期比で増加し、「売掛金、商業手形」は減少した。(図表2)。

(図表2) 証券化商品の「裏付資産」別発行金額

	RMBS	CMBS	CDO	リース	消費者ローン	ショッピング・クレジット	売掛金、商業手形	その他	合計
発行金額(億円)	15,086	0	1,422	436	406	8,641	180	71	26,242
前年同期比(億円)	416	0	353	436	260	2,734	▲346	65	3,918
前年同期比(%)	2.8	-(※)	33.0	-(※)	178.1	46.3	▲65.8	1,083.3	17.6
構成比(%)	57.5	0.0	5.4	1.7	1.5	32.9	0.7	0.3	100.0
発行件数(今期)	40	0	7	2	3	24	6	1	83
前年同期比(件数)	4	0	0	2	1	▲2	▲1	▲1	3
前年同期比(%)	11.1	-(※)	0.0	-(※)	50.0	▲7.7	▲14.3	▲50.0	3.8

※「CMBS」及び「リース」の前年同期比(%)は、前年同期の発行がないため、「—」としている。

(兆円)

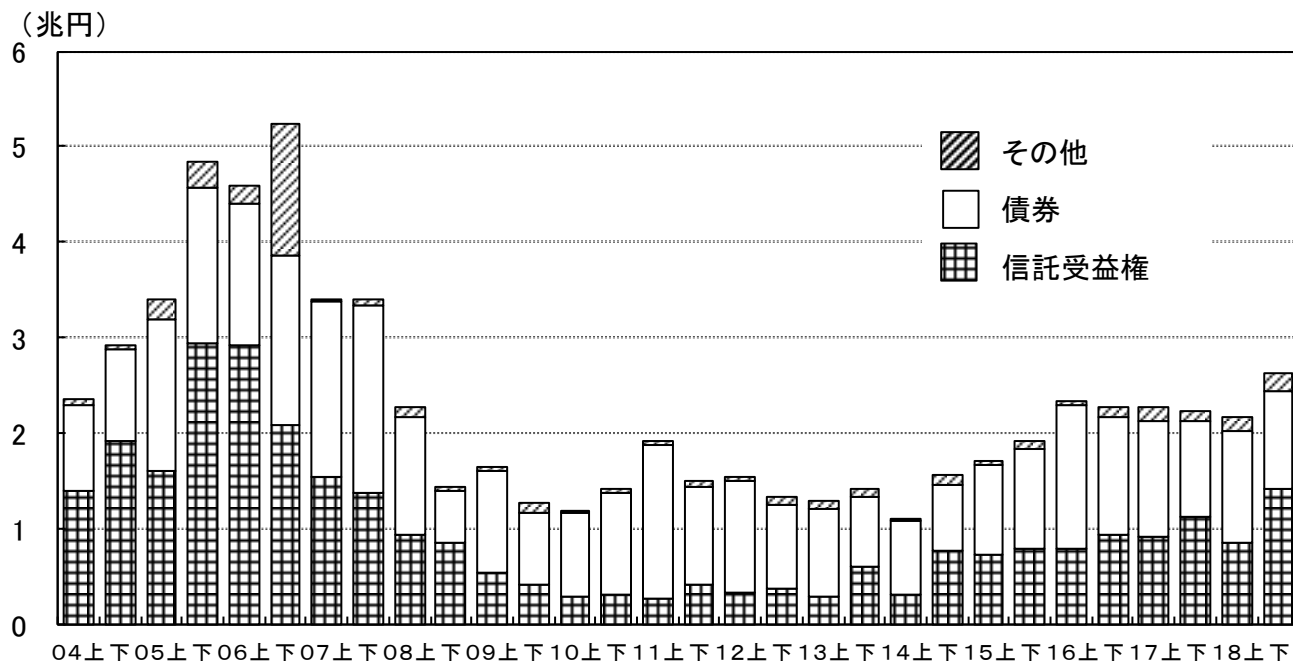


■ その他	基金債権、劣後ローン債権、事業キャッシュフロー、診療報酬債権等
■ 売掛金、商業手形	売掛債権、手形債権
■ ショッピング・クレジット	ショッピングクレジット債権、クレジットカード債権、オートローン債権
■ 消費者ローン	消費者ローン債権、カードローン債権
■ リース	リース料債権
■ CDO	(Collateralized Debt Obligations) 企業向け貸付債権、社債、CDS等
■ CMBS	(Commercial Mortgage Backed Securities) 商業用不動産担保ローン債権、商業用不動産
■ RMBS	(Residential Mortgage Backed Securities) 住宅ローン債権、アパートローン債権

3. 発行形式別の発行動向

2018年度下半期における証券化商品の発行金額（2兆6,242億円）の「発行形式」別内訳をみると、「信託受益権」が1兆4,021億円（構成比53.4%）、「債券」が1兆392億円（構成比39.6%）であった（図表3）。

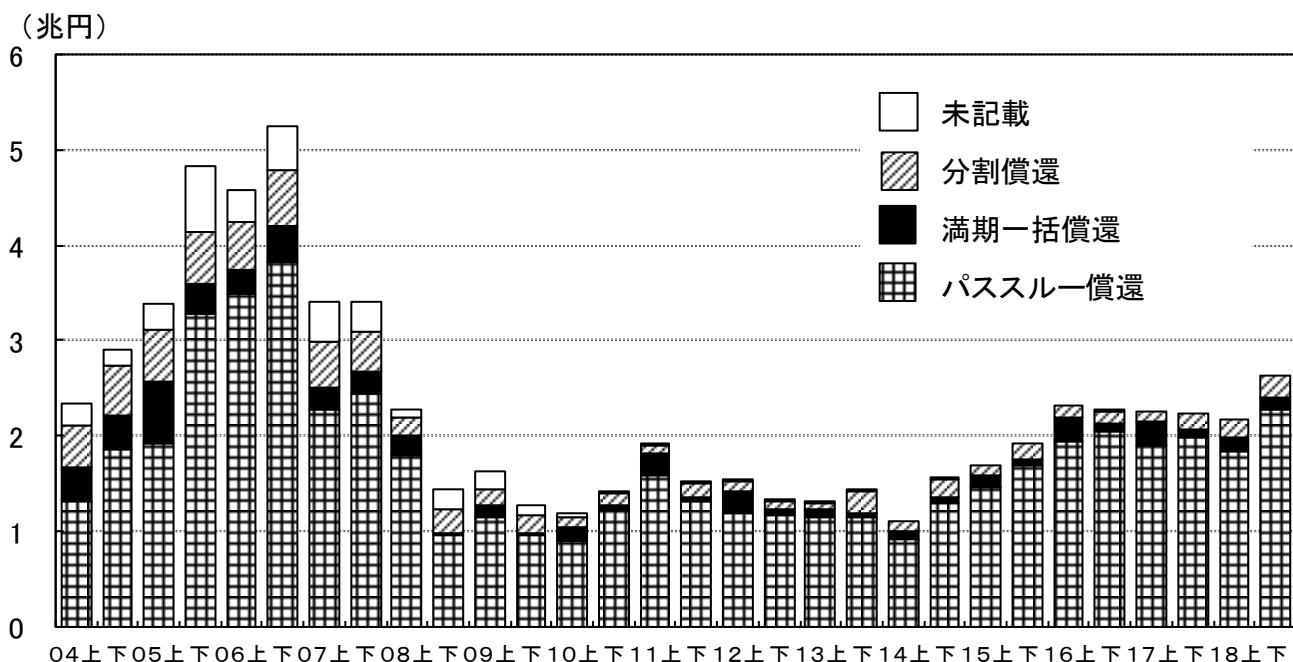
（図表3）証券化商品の「発行形式」別発行金額



4. 償還方法別の発行動向

2018年度下半期における証券化商品の発行金額（2兆6,242億円）の「償還方法」別内訳をみると、「パススルー償還」が2兆2,778億円（構成比86.8%）と最も多かった（図表4）。

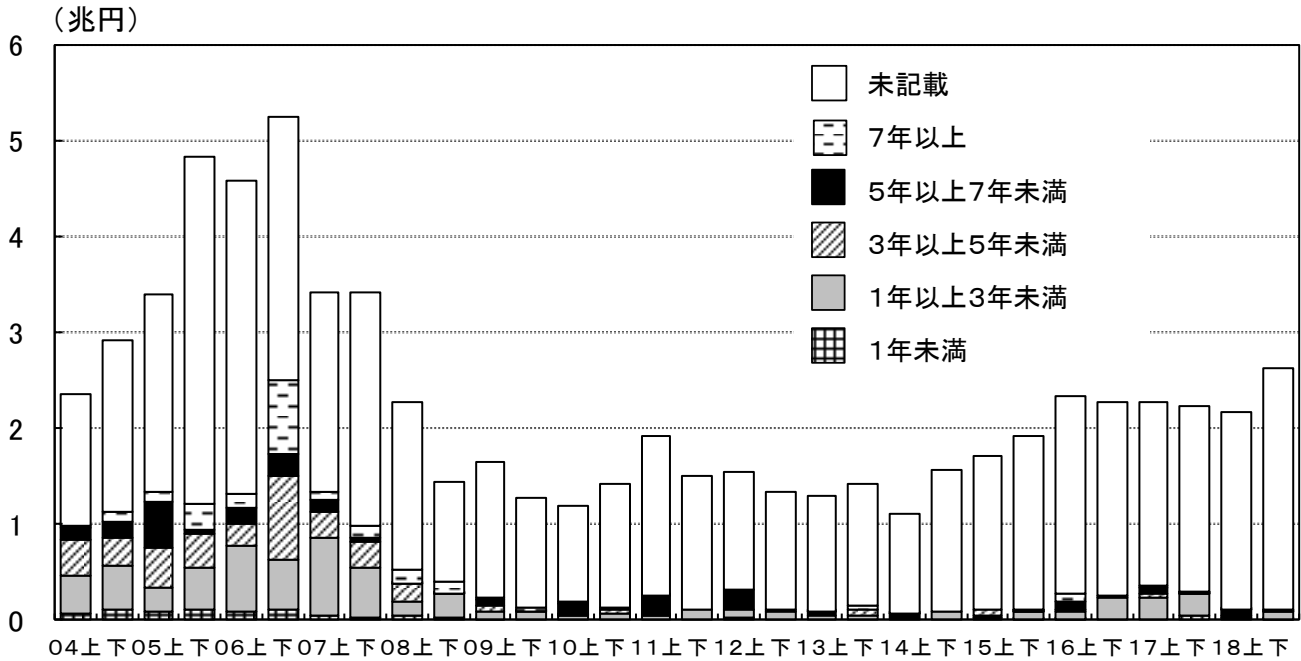
（図表4）証券化商品の「償還方法」別発行金額



5. 予定／平均年限別の発行動向

2018年度下半期における証券化商品の発行金額（2兆6,242億円）の「予定／平均年限」別内訳をみると、記載のある中では、「1年以上3年未満」が809億円（構成比3.1%）と最も多かった（図表5）。

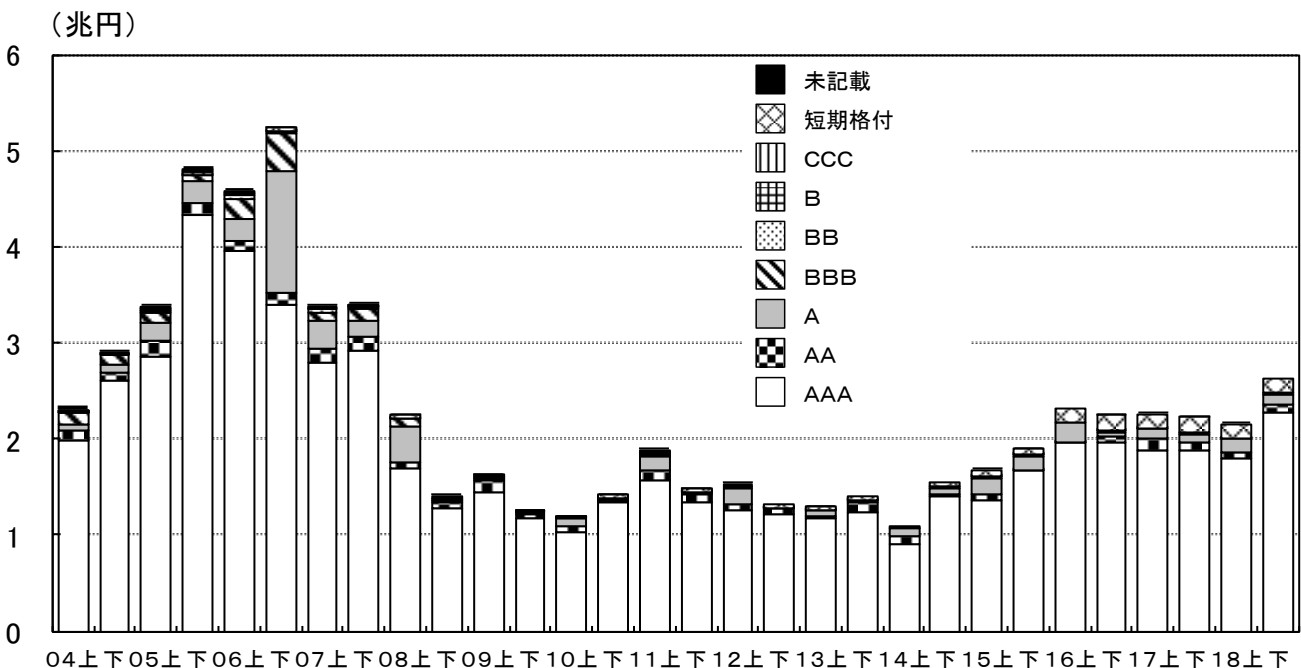
（図表5）証券化商品の「予定／平均年限」別発行金額



6. 格付別の発行動向

2018年度下半期における証券化商品の発行金額（2兆6,242億円）の「格付」別内訳をみると、「AAA」が2兆2,775億円（構成比86.8%）と最も多かった（図表6）。

（図表6）証券化商品の「格付」別発行金額

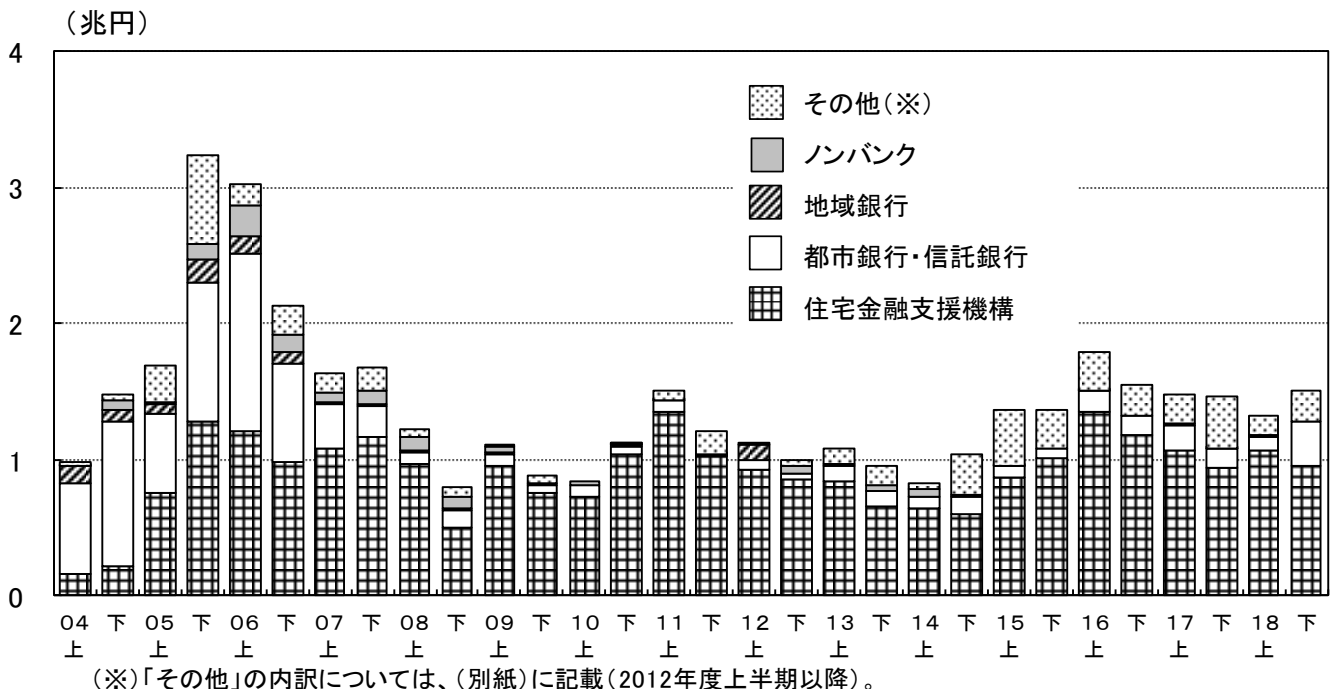


<補足>

① RMBSのオリジネーター別発行金額

RMBSの発行金額（1兆5,086億円）の「オリジネーター」別内訳をみると、「住宅金融支援機構」が9,499億円（構成比63.0%）と最も多く、次いで「都市銀行・信託銀行」が3,213億円（同21.3%）、「その他」（「非開示」等）が2,374億円（同15.7%）であった（図表7）。

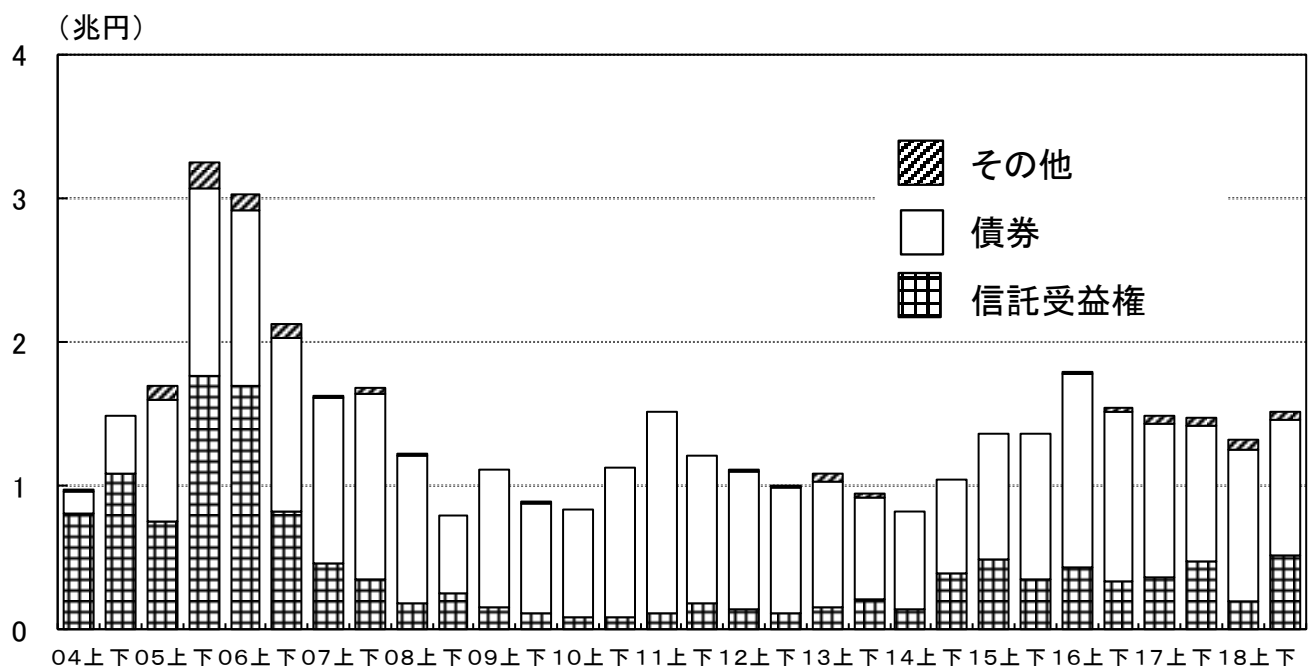
（図表7）RMBSの「オリジネーター」別発行金額



② RMBSの発行形式別発行金額

RMBSの発行金額（1兆5,086億円）の「発行形式」別内訳をみると、「債券」が9,499億円（構成比63.0%）と最も多く、次いで「信託受益権」が5,072億円（同33.6%）であった（図表8）。

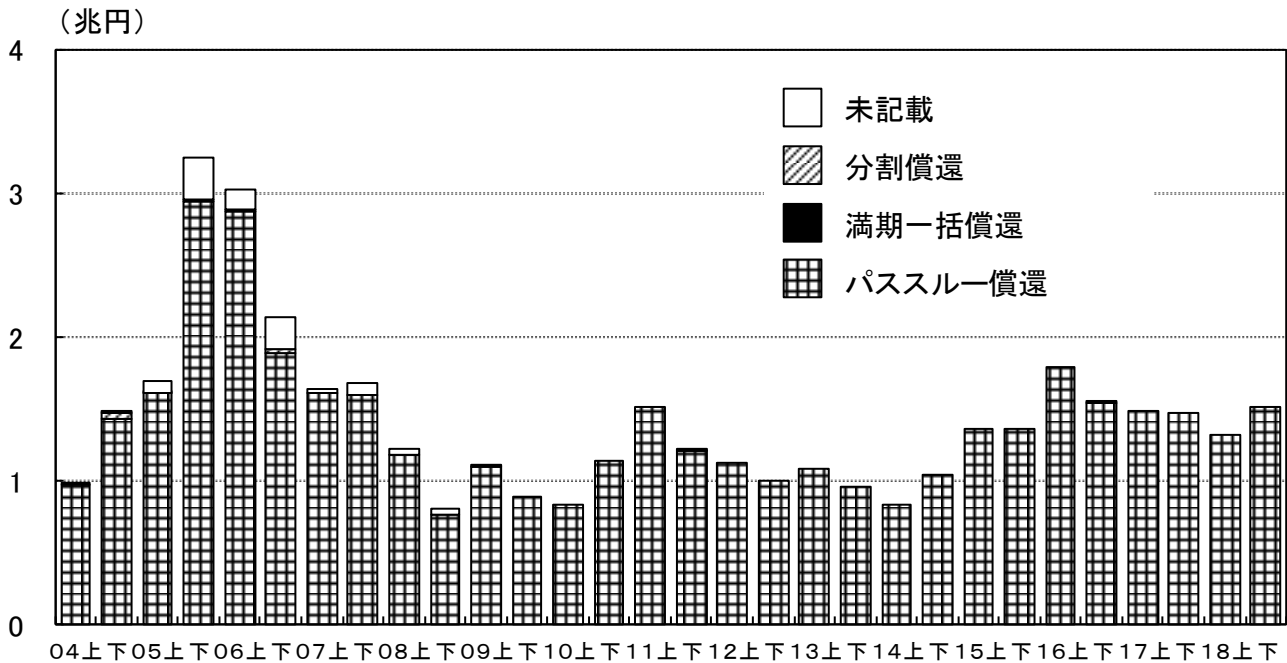
（図表8）RMBSの「発行形式」別発行金額



③ RMBSの償還方法別発行金額

RMBSの発行金額（1兆5,086億円）の「償還方法」別内訳をみると、全てが「パススルー償還」であった。（図表9）。

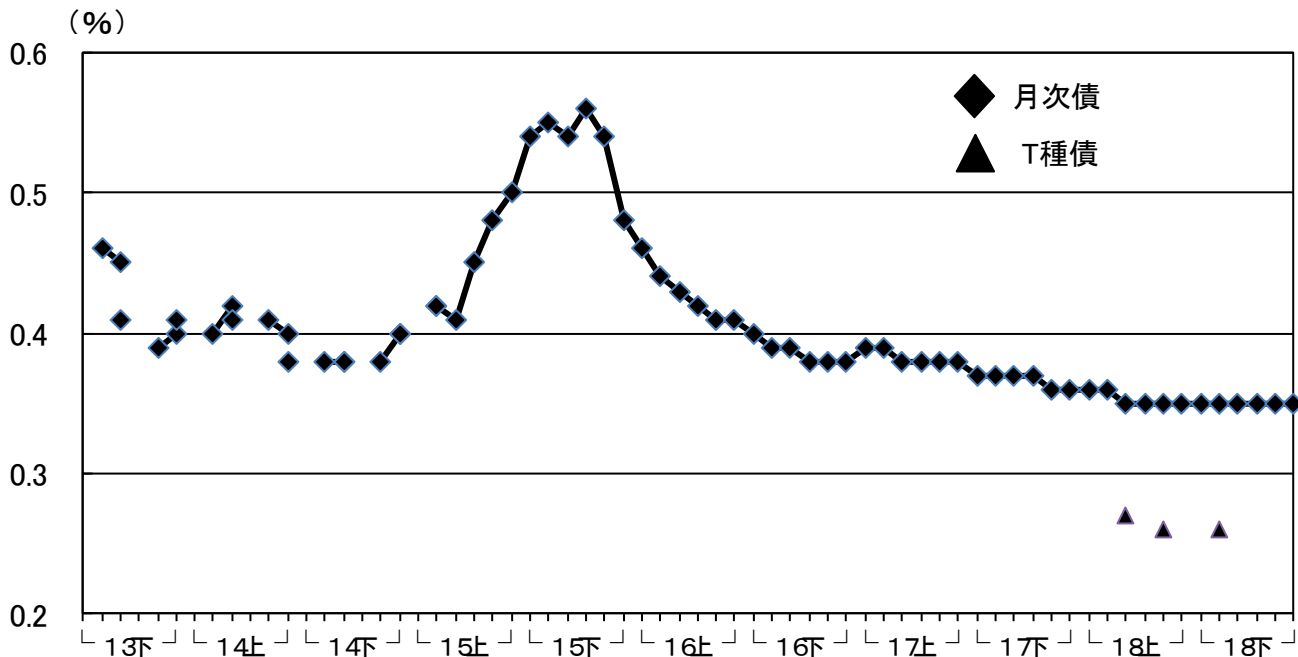
（図表9）RMBSの「償還方法」別発行金額



④ 住宅金融支援機構MBSのローンチスプレッド

貸付債権担保住宅金融支援機構債券（月次債）のローンチスプレッド(※)は横ばいで推移した（図表10）。

（図表10）貸付債権担保住宅金融支援機構債券（月次債）のローンチスプレッド推移



(※) 表面利率と条件決定時の新発国債利回り（月次債は10年国債、T種債は5年国債）との差。
T種債は2018年度上半期以降、項目追加。

以上